

農作物の品質向上を図り収量を増加へ

## ドローンでべと病予防薬を散布

2018年4月26日

当 JA 自己改革の一つ「農家組合員の所得増大・農業生産の拡大」の実現に向け、農作物の品質向上を図り収量を増加させるべく、県下 JA に先駆けてドローン（産業用マルチローター）を導入しました。

ドローンは、飛行速度によって散布量を自動的に調節し液体を均等に散布できるなど、産業用無人ヘリに変わる農薬散布手法として期待されています。また、無人ヘリに比べて低音・低コストであることも魅力となっています。

4月下旬には生産組合などの玉ねぎ圃場でべと病防除を実施し、さらに4月下旬から5月上旬にかけて麦の病害予防の薬剤散布を実施しました。



ドローンを使った薬剤散布の様子。